

## 令和5年度「全国学力・学習状況調査」結果についてのお知らせ

### 佐賀市立小中一貫校富士校小学部

4月に文部科学省による学力・学習状況調査を実施しました。全国的な義務教育の機会均等と水準向上のため、児童の学力や学習の状況を把握・分析し教育の改善を図るとともに、児童一人一人の学習改善や学習意欲の向上につなげることを目的としているものです。

結果を基に、本校児童（生徒）の学力の傾向を分析し、学力向上について対応策をまとめました。その概要についてお知らせいたします。

#### ■ 調査期日

令和5年4月18日（火）

#### ■ 調査の対象学年

小学校6年生児童

#### ■ 調査の内容

##### (1) 教科に関する調査(国語、算数・数学、英語)

- |   |
|---|
| ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等に関わる内容。 |
| ②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容。                      |
- 調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。出題形式については、記述式の問題を一定の割合で導入する。

##### (2) 生活習慣や学習環境に関する質問紙調査

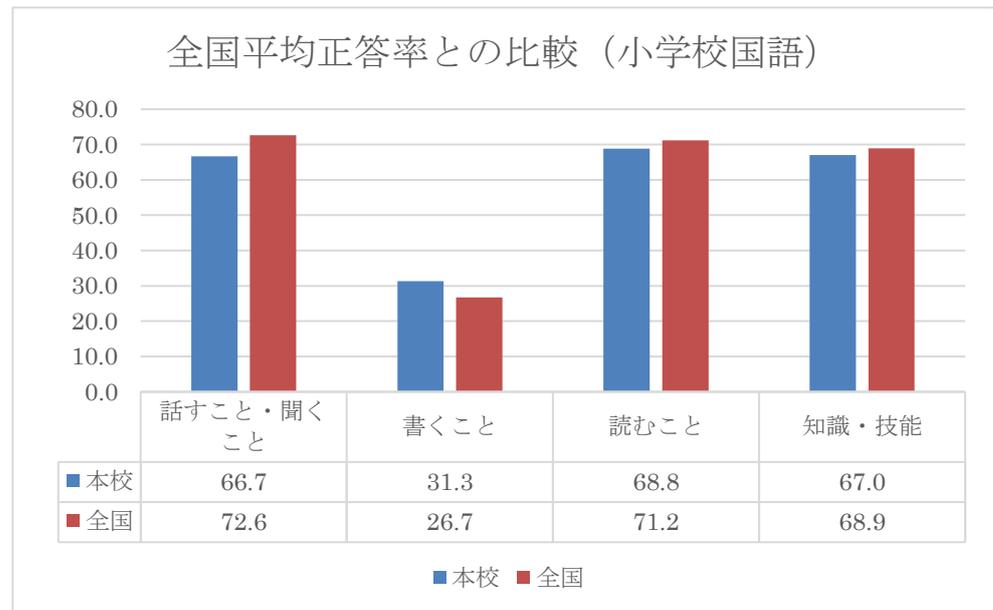
| 児童に対する調査  | 学校に対する調査  |
|---|---|
| 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査<br>(例) 国語への興味・関心、授業内容の理解度、読書時間、勉強時間の状況など | 指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査<br>(例) 授業の改善に関する取組、指導方法の工夫、学校運営に関する取組、家庭・地域との連携の状況など |

#### ■ 調査結果及び考察について

全国学力学習状況調査は小学6年生・中学3年生と限られた学年が対象であり、教科は国語と算数・数学、英語(中学校)に限られています。さらに、出題は各教科の限られた分野(問題)です。したがって、この調査によって測定できるのは、「学力の特定の一部」であり「学校教育活動の側面」であることをご理解の上、ご覧ください。

## ■ 調査結果及び考察

### 1 国語



#### (1) 結果

ほぼ全国平均と同等の結果でした。「書くこと」は、全国平均正答率を上回っています。また、無解答率をみると、多くの問題で全国平均よりも低くなっています。

#### (2) 成果と課題

今回の調査で、「書くこと」が4.6ポイント上回りました。「書くこと」は国語科の「話すこと・聞くこと」「読むこと」のそれぞれの内容領域の根幹とつながっており、普段から、文章の要約をしたり、自分の考えを書いたりしたことが、この成果に表れていると考えられます。課題は、必要な情報を取り出す力をつけることです。文章を読むことはできますが、キーワードを抜き出したり、多くの情報の中から、必要な情報を選んだりすることを苦手としている児童が多くいます。情報を取り出す力を高めることが、「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の力を伸ばすことにつながります。単なる「知識」を問う問題ではなく、「思考力・判断力・表現力」を重視した問題が増えていく傾向にありますので、授業改善を通して、日々の授業で力を付けていくことが重要であると捉えています。

#### (3) 学力向上のための取り組み

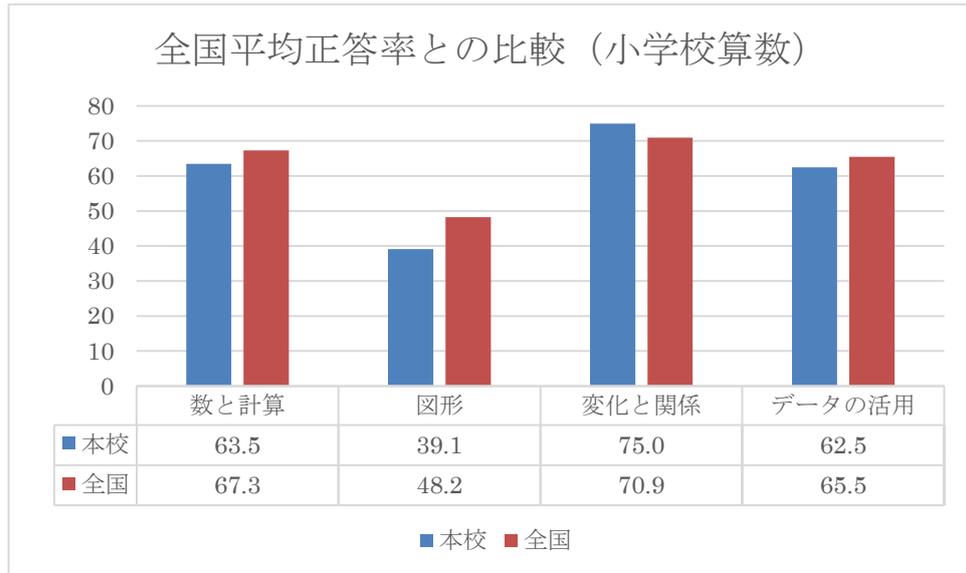
##### 【学校では】

- 学習の最後に振り返り活動を取り入れ、キーワードを使って振り返りを書かせ情報を取り出す力を伸ばします。
- 子どもが主体的に学べるように、ペアやみんなでの話し合い活動を取り入れ、子供同士が話し合いながら、深く学んでいけるようにします。
- 目的や意図に応じて、自分の考えとその理由を明確にしながら書く機会を増やします。
- 教師同士が授業を公開し、研修を行い授業力をつけていきます。

##### 【ご家庭では】

- 読書を大切にしていましょ。文学・科学・歴史・地理・芸術…いろんな本を読み、いろんな表現や用語にふれることで、語彙力を高め知識の幅を広げることができます。市立図書館や本屋に定期的に行くことも、子供の読書習慣をつける上でおすすめです。
- 夕食や寝る時間に、子供さんとたくさんお話をしてください。学校であったことを順序立てて話したり、学習した内容を思い出しながら話したりすることは、情報を整理することに繋がります。「学校でいやなことがあった？」ではなく、「学校で楽しかったことは何？」と聞いてください。

## 2 算数(数学)



### (1) 結果

ほぼ全国平均と同等の結果でした。「変化と関係」は全国平均より上回っています。また、無解答率を見ると、ほぼすべての問題で全国平均より低くなっています。

### (2) 成果と課題

今回の調査では、「C 変化と関係」領域の正答率が高かったです。「百分率で表された割合について理解しているかの問題」や、「伴って変わる二つの数量の関係」の正答率が全国平均を上回っていました。

しかしながら、「B 図形」の領域の、「正三角形の意味や性質について詳しく理解している」問題の正答率が全国平均を下回っていました。

今後、図形の観察や操作活動などを通して、図形の意味や性質を考えることができるようにすることが重要であると捉えています。

### (3) 学力向上のための取り組み

#### 【学校では】

- 問題に取り組む際には、具体物を使い、操作活動を取り入れながら授業を進めていきます。
- 様々な見方や考え方ができるように、グループで話し合う活動を取り入れていきます。また、自分の考えを、式や言葉を使って、論理的に書く機会を増やし、記述力の向上に努めます。
- 1時間で学んだキーワードを入れながら振り返り活動を行うことにより学習の定着を図ります。
- スキルタイム、ノートチェック、プリント、ドリル、家庭への課題など、日々の指導の中で個々のつまづきを早期に見つけ、補充指導に努めます。

#### 【ご家庭では】

- お子さんのドリルやプリント等の宿題の様子やテストをご覧になって、たくさん励ましや称賛の言葉をかけてください。
- 算数科で学んだことを取り入れて、生活場面で生かしてほしいと思います。例えば、「お風呂の水がたまるまで何分間かかるかな」、「2人分の材料表示から8人分の材料を出すにはどうすれば良いか」、「買い物しながら暗算で計算をしよう」など、身の回りには算数が使える場面が多くあります。

### 3 生活習慣や学習習慣に関する調査

#### (1) 結果

※「当てはまる」「どちらかと言えば当てはまる」「どちらかと言えば当てはまらない」「当てはまらない」のうち「当てはまる」と回答した児童(生徒)の割合。

《生活習慣・自己肯定感・規範意識について》

| 調査項目                          | 本校 %  | 全国平均 % |
|-------------------------------|-------|--------|
| 朝食を毎日食べていますか。                 | 100%  | 83.7%  |
| 毎日同じくらいの時刻に寝ていますか。            | 87.5% | 38.1%  |
| 毎日同じくらいの時刻に起きていますか。           | 93.7% | 55.1%  |
| 自分にはよいところがあると思いますか。           | 87.5% | 42.6%  |
| 将来の夢や目標を持っていますか。              | 87.5% | 60.8%  |
| 人の役に立つ人間になりたいと思いますか。          | 93.7% | 75.3%  |
| いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。 | 93.7% | 82.6%  |

朝食・起床・就寝については大きく全国平均を上回っています。ご家庭のご協力のおかげです。ありがとうございます。「早寝・早起き・朝ごはん」の生活リズムを大切にしていくことはとても重要です。家庭と学校で協力して、習慣化していきましょう。

自己肯定感や規範意識の項目については、肯定的な回答をした児童は全国平均よりも高い結果が出ています。

《家庭学習の様子》

| 調査の項目                                      | 本校%   | 全国平均 % |
|--|-------|--------|
| 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。                      | 81.2% | 28.7%  |
| 学校の授業時間以外に、普段1日当たりどれくらいの時間勉強していますか。「3時間以上」 | 0%    | 11.8%  |
| 「2時間以上、3時間より少ない」                           | 6.2%  | 13.8%  |
| 「1時間以上、2時間より少ない」                           | 37.5% | 31.5%  |
| 「30分以上、1時間より少ない」                           | 50%   | 26.9%  |
| 「30分より少ない」                                 | 6.2%  | 11.4%  |
| 「全くしない」                                    | 0%    | 4.6%   |

家庭学習については全国平均より若干下回っています。まだ学習時間が1時間未満の児童が5割おり、中には30分未満の児童もいました。かなり個人差が見られるので、家庭学習の手引きをもとに家庭学習の意味を保護者や児童に伝えて家庭学習が習慣化するように指導をしていきます。また、自分の目標に向かって、計画を立てて家庭学習を行う習慣についても指導していきます。

#### (2) 改善に向けての取り組み

##### 【学校では】

- 学校からは、学年に応じた宿題を出しています。自主学習(自学)についても高学年で取り組み、お手本になる自学ノートを掲示して定着しつつあります。これから中学年にも少しずつ広げていきます。
- すこやかカードを年に3回、定期的に取り組みせ、規則正しい生活を今後も啓発していきます。

##### 【ご家庭では】

- 早寝・早起き・朝ご飯の基本的な生活習慣を今後とも取り組んでください。規則正しい生活は、家庭学習の定着にも繋がります。お子さんが学習の計画を立てたり、学習を進んで取りくんだりしたときなど、少しでも向上したときを逃さず、褒めることで意識が更に高まります。